

埼玉県における 2024/2025 シーズンのインフルエンザ

インフルエンザの 2025/2026 シーズンが第 36 週 (9/1-9/7) からスタートしました。毎週のインフルエンザ流行状況は、感染症情報センターホームページ内※¹で掲載していきます。

昨シーズン (2024/2025 シーズン) のインフルエンザを全体の流行規模を表す総定点当たり報告数でみると 321.10 で、2023/2024 シーズン (676.29) のおよそ 1/2、過去 10 年の平均 292.96 とほぼ同じでした。しかし、昨シーズンは急激に患者数が増加したのが特徴的で、流行のピークは 2024 年第 52 週 (2024/12/23-12/29) で定点当たり報告数 76.56 を記録しました (図)。この 76.56 は、1999 年の感染症法施行以降、過去 2 番目に高い値でした。

病原体定点において採取された検体からは、431 件のインフルエンザウイルスが検出されました。その内訳は、AH1pdm09 が 293 件、AH3 が 70 件、B ビクトリア系統が 65 件でした (2 件は A 亜型不明、1 件は B 系統不明)。流行初期からピーク時 (第 52 週) までは主に AH1pdm09 が、ピーク後の 1 月以降は AH1pdm09 に加え AH3 及び B ビクトリア系統も検出されました。

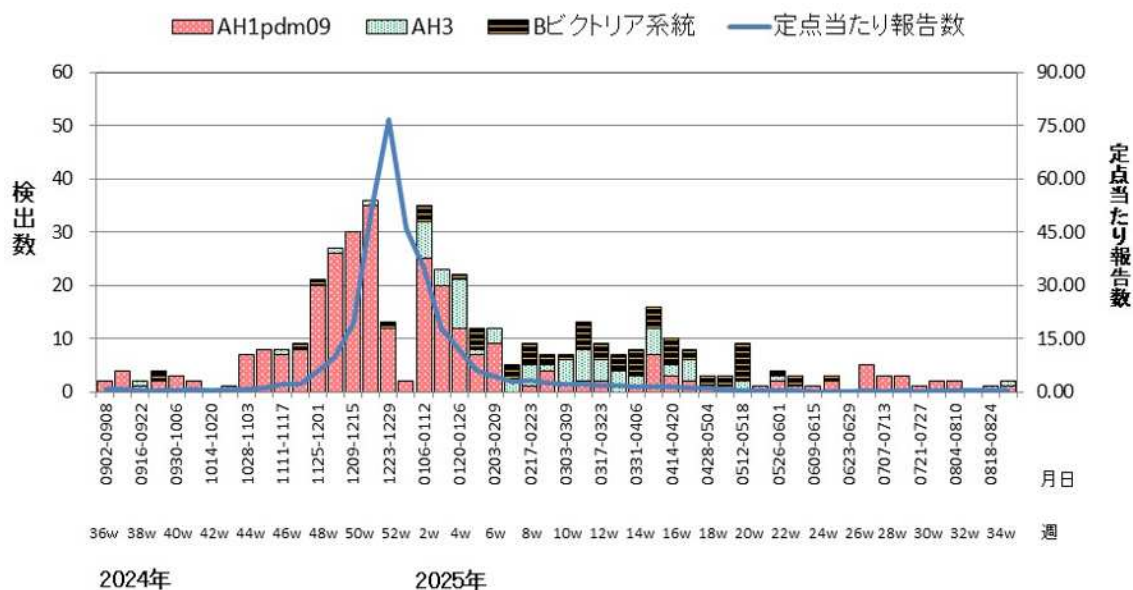


図 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況 (2024/2025 シーズン)

2025 年 4 月 7 日以降、インフルエンザウイルスの検出は急性呼吸器感染症 (ARI) 検体から行っています。病原体定点から ARI として搬入された検体について、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、RS ウイルス等様々な呼吸器感染症の原因病原体の検査を実施します。これにより、ARI の定義に合致する症例のうちどれくらいがインフルエンザであるかも推測できます。ARI の検査結果は、毎週感染症情報センターのホームページに「かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況」※²として掲載しています。流行状況の把握の一助となれば幸いです。

※¹ インフルエンザ流行情報 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>

※² かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>